

ICTを活用した授業づくり～タブレット端末を導入したら～

- 1 指導学年 中学校 第3学年
- 2 指導教科 外国語（英語）
- 3 単元 Unit 6 Break the Barrier（NEW HORIZON English Course 3）
- 4 題材 Review
- 5 学習目標（単元の目標との関連）
 - ・後置修飾を用いて、人や物について説明する。
- 6 評価規準
 - ・後置修飾を用いて、人や物について説明している。
- 7 ICT活用の目的、期待されるICT活用の学習効果
 - ①タブレット端末を各生徒に操作させることによって、課題に対する学習意欲を高める。
 - ②タブレット端末から大型TVに情報を映し、瞬時に共有する。
 - ③タブレット端末を使って効率的に授業を展開し、机間指導・個別指導の時間を確保する。
- 8 ICT活用コンテンツ・機器
 - ・タブレット端末（4人グループに1台ずつ・教師用1台：計10台）
 - ・大型テレビ
- 9 指導過程（A＝一斉 G＝グループ P＝ペア I＝個人）

段階	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	形態	*指導上の留意点 ●評価〔方法〕
導入	1 あいさつ 2 クイズ例示	・あいさつする。 ・後置修飾が用いられた英文を聞いたり読んだりして、それが誰（何）なのかクイズに答える。	A	
展開	3 英作文①	・4人グループで、与えられた課題（人や物）について後置修飾を用いた英文をタブレット端末に4文書き込み、クイズを作る。	G	☆ <u>タブレット端末使用</u> *机間指導する。
	4 クイズ	・4人グループで教室を歩き、各班のタブレット端末を操作しながら、クイズの答えをワークシートに書く。 ・各班のタブレット端末から大型テレビにクイズの英文を映し、正解を確認する。	A	☆ <u>タブレット端末使用</u>
	5 英作文②	・ワークシートの課題に取り組む。	I	*個別指導する。 ●後置修飾を用いて、人や物について説明しているか。 〔観察，ワークシート〕
終末	6 次時の予告 7 あいさつ	・宿題や予習について確認する。 ・あいさつする。	A	

10 成果と課題

タブレット端末は直感的な操作が可能で、使用方法を詳しく説明しなくても、生徒はスムーズに使いこなしており、学習用具の一つとして大きな魅力と可能性を感じた。環境を整えば、自分の席から発表資料を大型TVに送り、その場で発表もできるので、移動時間を短縮して学習活動を充実させるなど効率化が期待できる。今後はタブレット端末のメリット、デメリットを把握した上で授業づくりを考えることが課題である。